

## 17番 心あわせ

1

心あわせ 主をたたえ み前にみな ほめうたえ  
あやまりなき 主のことば まこと恵み 神にあり  
主の家にて 礼拝し とうとき御名 ほめうたえ

2

呼び求めに こたえまし ちからあたえ つよくされ  
主をたたえる よろずの王 聞き従う 御言葉に  
神の栄え ゆるぎなく 主のみ技を ほめうたえ

3

神は高く いましても いやしきもの かえりみる  
神は遠く いましても おごれる者 裁きます  
われ苦しみ 歩むとも 神は我を 生かします

4

主われに手を 差し伸べて 敵の弓矢 防ぎます  
右手のべて 救い出し 約束どおり なされます  
慈しみは 限りなく みそば近く おらせませ  
アーメン

## 交読文54

目を上げて、わたしはあなたを仰ぎます。天にいます方よ。

**私達は、神に、私達の主に目を注ぎ、憐れみを待ちます。**

わたしたちがまだ罪びとであったとき、キリストがわたしたちのために死んで下さったことにより、

**神はわたしたちに対する愛を示されました。**

それで今や、わたしたちはキリストの知によって義とされたのですから、

**キリストによって神の怒りから救われるのは、なおさらのことです。**

わたしたちはバプテスマによってキリストと共に葬られ、その死にあずかるものとなりました。

**それは、キリストが御父の栄光によって死者の中から復活させられたように、私達も新しい命に生きるためなのです。**

あなたがたは、主キリスト・イエスを受け入れたのですから、

**キリストに結ばれて歩みなさい。キリストに根を下ろして造り上げられ、  
(一同) 教えられたとおりの信仰をしっかりと守って、あふれるばかりに感謝しなさい。**

## 使徒信条

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。

我はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。

主は聖霊によりてやどり、処女マリヤより生まれ、

ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、  
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、  
三日目に死人のうちよりよみがへり、天に昇り、  
全能の父なる神の右に坐したまへり、  
かしこより来たりて、生ける者と死ねる者とを審きたまはん。  
我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交はり、  
罪の赦し、身体のよみがえり、永遠の命を信ず。  
アーメン。

## 3番 御恵みあふるる

みめぐみあふるる ちち みこ みたまの  
ひとりの みかみに みさかえ つきざれ  
アーメン

## 主の祈り

天にまします我らの父よ

願わくはみ名をあがめさせたまえ

み国を来たさせたまえ

み心の天に成る如く地にもなさせたまえ

我らの日用の糧を今日も与えたまえ

我らに罪を犯す者を我らが赦す如く我らの罪をも赦したまえ

我らを試みに遭わせず悪より救い出したまえ

国と力と栄えとは限りなく汝のものなればなり

## 460番 きょうまで守りし

1

今日までまもりし くすしき恵み 言葉につくせぬ 限りなき愛  
朝昼夜でも 御手に守られ 主にある全てを なさしめたまえ

2

かよわきわが身は み力受けて 恵みは豊かに 注がれあふる  
愛無きちまたも 険しき谷も 主のみ手すがりて 歌いて歩む

3

主に会うその日は 日に日にせまり 重荷を下ろして 主にゆだねる日  
わがため備えし 御国に帰り み神に抱かれ とこしえに住む

22:1 主が、ダビデのすべての敵の手、特にサウルの手から彼を救い出された日に、ダビデはこの歌のことは主に歌った。

22:2 彼はこう歌った。「主はわが巖、わがとりで、わが救い主、

22:3 わが身を避けるわが岩なる神。わが盾、わが救いの角、わがやぐら。私を暴虐から救う私の救い主、私の逃げ場。

22:4 ほめたたえられる方、この主を呼び求めると、私は、敵から救われる。

22:5 死の波は私を取り巻き、滅びの川は、私を恐れさせた。

22:6 よみの綱は私を取り囲み、死のわなは私に立ち向かった。

22:7 私は苦しみの中に主を呼び求め、わが神に叫んだ。主はその宮で私の声を聞かれ、私の叫びは、御耳に届いた。

#### 464 番 荒波に疲れたる

1

荒波に疲れたる われ憩う主の港  
嵐をもおさめたもう 御腕によりたのめ

2

友我を捨てるとも 主は常にともないて  
主のめぐみ満ちあふる 御腕によりたのめ

3

信仰が弱れども 主は力備えたもう  
危うきに勝たしめる 御腕によりたのめ

4

全能のわが神に この命ゆだねれば  
わが重荷おいたもう 御腕によりたのめ

※おりかえし

主の御腕のみわれらを いつでも支える  
どこにゆけども我動かぬは 主の御腕の力

13:25 四十日がたって、彼らはその地の偵察から帰って来た。

13:26 そして、ただちにパランの荒野のカデシュにいるモーセとアロンおよびイスラエルの全会衆のところに行き、ふたりと全会衆に報告をして、彼らにその地のくだものを見せた。

13:27 彼らはモーセに告げて言った。「私たちは、あなたがお遣わしになった地に行きました。そこにはまことに乳と蜜が流れています。そしてこれがそのくだものです。

13:28 しかし、その地に住む民は力強く、その町々は城壁を持ち、非常に大きく、そのうえ、私たちはそこでアナクの子孫を見ました。

13:29 ネゲブの地方にはアマレク人が住み、山地にはヘテ人、エブス人、エモリ人が住んでおり、海岸とヨルダンの川岸にはカナン人が住んでいます。」

13:30 そのとき、カレブがモーセの前で、民を静めて言った。「私たちはぜひとも、上って行って、そこを占領しよう。必ずそれができるから。」

13:31 しかし、彼といっしょに上って行った者たちは言った。「私たちはあの民のところに攻め上れない。あの民は私たちより強いから。」

13:32 彼らは探って来た地について、イスラエル人に悪く言いふらして言った。「私たちが行き巡って探った地は、その住民を食い尽くす地だ。私たちがそこで見た民はみな、背の高い者たちだ。

13:33 そこで、私たちはネフィリム人、ネフィリム人のアナク人を見た。私たちには自分がいながらのように見えたし、彼らにもそう見えたことだろう。」

#### 415 番 主イエスなしには

1

主イエスなしには 生きてゆけぬ  
尊き血潮で救いたもう 愛を持って主は 血潮流し のぞみ慰め 栄えとなる

2

主イエスなしには 生きてゆけぬ  
力も知恵も なにもないが 主はわが命 また力よ イエスに頼みて 知恵を得たり

3

主イエスなしには 生きてゆけぬ  
わが魂の 望み願い 主イエスのほかは 誰が知るや われを慰め 安きたまう

4

主イエスなしには 生きてゆけぬ  
深い孤独に 世を去るとも 嵐のときに われを守り 主はともないて 力たまう  
アーメン